

研究実施のお知らせ

2024年8月27日 ver.2.0

研究課題名

悪性胆道狭窄に関する胆管ステントの開存期間に関する後ろ向き研究

研究の対象となる方

2012年4月から2024年7月までの間に島根大学医学部附属病院で悪性胆道狭窄に対し内視鏡的胆道ステント留置術を受けられた方

研究の目的・意義

がんなどの悪性疾患に伴う胆道の狭窄（悪性胆道狭窄）に対し内視鏡を用いた治療（胆道ステント留置術）が広く普及しています。悪性胆道狭窄は、膵がんや胆道がんだけでなく肝細胞がんや胃がんなども原因となりますが、がんの種類や治療法が胆道ステント術の効果に与える影響は明らかではありません。以上の背景から今回の研究を計画することとなりました。

この研究の目的は、これまで当院で行われた悪性胆道狭窄に対する内視鏡的胆道ステント留置術の症例のカルテ情報を収集し、ステントの開存期間に与える要因を明らかにすることです。胆道ステント開存期間に影響を与える因子を明らかにすることで今後悪性胆道狭窄に対する胆道ステント留置術の開存期間予測が可能になり、また開存期間延長を目指し患者さんに最適な方法を検討することが可能になります。

研究の方法

利用する診療情報の項目：以下の項目を取得します。

- 1) 年齢、性別
- 2) 糖尿病の有無
- 3) 内服歴（プロトンポンプ阻害薬、ウルソデオキシコール酸）
- 4) 原疾患
- 5) ステントの種類、本数
- 6) 内視鏡的胆道ステント留置術に成功した日
- 7) 内視鏡的胆道ステント留置術直近の総ビリルビン値、血中AST、ALT、ALP
- 8) 内視鏡的胆道ステント留置術 1週間から 4週間後の総ビリルビン値、血中

AST、ALT、ALP

9) ステント閉塞と診断した日

研究の期間

2023年5月16日～2026年3月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院消化器内科 福庭暢彦

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2025年3月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院消化器内科 福庭暢彦

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2190 FAX 0853-20-2189